

1、師範会委員会報告

①都道府県における講習会の件

年1回、各都道府県の昇段・資格審査等に本部指導員を派遣し、技術の向上・統一化を図る。
派遣費用については、各都道府県が負担する。

②段・資格の細則の件

師範会規約を改定し、詳細を明確化する。

③師範会委員推薦の件

- ・師範会委員 現在17名であるが、海外・地区より推薦を受け、師範会の充実化を図る。
金井成坤（岡山） 米良順一（栃木） 笹本十郎（東京） 中山広重（長野）
上記の4名が新たに委員に推薦された。
- ・師範会員 油井周二（長野） 山田光生（三重） 四井美喜雄（鳥取）
Keith Geyer(オーストラリア) 上記の4名が新たに会員に推薦された。

④八段位推薦の件 Stan Schmiat（南ア） Ken Wittstock（南ア）

Jorgen Bura（デンマーク） 井村武憲（総本部） 蔵迫研郎（総本部）
上記の5名が新たに八段位に推薦された。

⑤称号の件

昨年、称号（範士・教士・練士）の推薦依頼があったが、推薦者が皆無であった為、内容等を再検討する。

⑥アジア・オセアニア空手道選手権大会の件

本年8月22日（土）タイ・バンコックにて、第1回大会が開催されることとなった。

2、師範会稽古会報告

- ・前屈立ちの前膝の位置は、脛を立て、膝頭の垂直線が母指のつけ根のやや内側に下りるよう。
（講習教材教本より引用）
腰を正面に向けるべき時、充分に。〈後ろ脚側の腰がやや引け易い〉
- ・後屈立ちの重心位置を3：7後ろへ（講習教材教本より引用）身体が堅強に安定するよう。
- ・引き手は、脇が開かぬよう肘を脇腹を擦るよう。
- ・前蹴りは、蹴り足の下肢を早く十分に引き付け、軸足と蹴り足が離れぬよう。
- ・内受けは、受け手の肘が体幹から離れ過ぎないよう。
同様に、上段腕受け等も、受け手の肘が体幹から早く離れないよう、且つ肘のスナップを効かせるよう。
- ・自由組手において小手先の技が見られるので、基本一本組手・約束自由一本組手の稽古を十分に重ね、突き・受け・捌き等をしっかり極められる技を習得されるよう。
且つ、それらにて習得した技を自由組手に活かせるよう。

◎上記の注意事項は、理解していても陥りやすい点であるので、留意されるよう。

平成27年2月14日 総本部道場において

出席者 大津直之介師範会委員 川上弘紀師範会員 川澄治男師範会員 中島正史師範会員